

カンキツ台木の挿し木繁殖法の検討

緒方達志・高辻豊二・村松昇 (果樹試験場口之津支場)

Tatsushi OGATA, Toyoji TAKATSUJI and Noboru MURAMATSU :
Propagation of Citrus Rootstocks by Stem Cutting

カンキツ類の台木には現在主に中葉系カラタチが使われている。中葉系カラタチは結実性が良好な上、多胚性で含核数も多く、種子繁殖は容易である。しかし、当支場で保存している台木品種の中には、単胚性であったり結実性不良や少含核数により種子繁殖上問題があるものもある。今後これらの台木の優良性が認められた場合、効率の良い繁殖方法の確立が必要である。

そこで、操作が比較的簡単であり、直根が無くなる等、今後の高品質果実栽培にも利用できる可能性がある挿し木繁殖法について検討した。

1. 材料及び方法

中葉系カラタチ、ヒリュウ及びラスクシトレンジについて、3~4年生の鉢植え実生を前年春に地上部約5cmで切り返し、翌年伸長した1年生春枝(ジュベナイルフェイス)及び当支場で保存している台木の採種用母樹の1年生春枝(アダルトフェイス)を6~8月に採種した。

挿し穂基部は、基本的に返し切りとし、切断面を下に斜めに挿した。切断方法の比較として実生カラタチを用いて、返し切りで斜め挿し及び水平切りで垂直挿しについて、それぞれ節上及び節下で切る処理を行った。

発根促進剤処理として、挿し穂基部をIBA25ppm液に20時間浸漬処理及び抗ジベレリン剤のパクロプロラゾール(PP-333)、プロヘキサジオンカルシウム(KUH-833)及びウニコナゾール(S-327D)を用い、1~

1000ppm液に20時間浸漬処理を行った。

挿し床は寒冷紗を敷いた平コンテナに鹿沼土を厚さ約7cm入れたものを用い、寒冷紗で覆ったミストハウス内に入れた。挿し木約40日後に発根調査を行った。

2. 結果及び考察

挿し穂の違いの影響:ジュベナイルフェイスのカラタチ及びヒリュウは全体的に発根が良好であった。アダルトフェイス挿し穂の発根は各品種とも非常に悪かった。

挿し穂の径と発根数との間には全体的に高い相関がみられた(第1図)。挿し木繁殖の効率化には、挿し穂の充実のための採種母樹の管理方法が重要である。

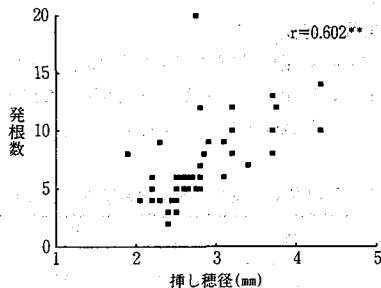
挿し穂基部の切断方法:節の下及び返し切りで発根率が良い傾向であった(第3表)。ただし、切断の角度が急であるほど先端部からのみ発根する傾向がみられたので、返し切りは30度前後の緩い角度が良いと思われる。

発根促進剤処理:IBA処理は発根率、発根数とも好結果であった。IBAと抗ジベレリン剤の混合処理はIBA単独処理より発根数が増加する傾向であったが、やや発根率が低下し、根の伸長が悪くなった(第2表)。また、抗ジベレリンの濃度が高いほど発根数増加効果が高かったが、薬害がみられるようになった。ただし、アダルトフェイスのラスクシトレンジではIBAと低濃度の抗ジベレリン剤処理により発根率が向上した(第1表)。

第1表 薬剤処理がアダルトフェイスのラスクシトレンジ挿し木の発根に及ぼす影響

処理 ^{a)}	発根率	発根数	最大根長	調査数
IBA25ppm +PP-333	26.9 %	1.29	46.2 mm	52
IBA25ppm +KUH	16.7	1.67	34.1	54
IBA25ppm +S-327D	2.1	1.00	60.2	48
IBA25ppm	4.1	1.00	56.5	49
cont.	2.0	1.00	23.5	49

注) a) PP-333, KUH:10ppm, S-327D:2ppm



第1図 カラタチ挿し穂径と発根数との関係 (ジュベナイルフェイス, IBA25ppm処理)

第2表 薬剤処理がジュベナイルフェイスのカラタチ挿し木の発根に及ぼす影響

処理 ^{a)}	発根率	発根数	最大根長	調査数
IBA25ppm +PP-333	89.6 %	7.95	58.2 mm	48
IBA25ppm +KUH	68.0	4.88	49.2	50
IBA25ppm +S-327D	90.0	6.36	73.9	50
IBA25ppm	96.0	6.34	91.1	50
cont.	90.3	3.89	58.5	29

注) a) PP-333, KUH:1000ppm, S-327D:200ppm

第3表 カラタチ挿し穂調製法が発根に及ぼす影響

処理 ^{a)}	発根率	発根数	最大根長	調査数
節上 水平切り	83.7 %	5.25	73.8 mm	43
節上 返し切り	89.1	4.80	82.7	46
節下 水平切り	86.4	4.50	54.1	44
節下 返し切り	93.3	4.95	77.9	45

注) a) すべてIBA, 25ppmの20時間浸漬処理